

山形市農協 野菜園芸専門委員会 セルリー部

山形セルリーのブランド化の一環として、食品安全等のGAPに取り組み、平成30年9月にJGAP認証を取得。GAPの取り組みを通じて、新規就農者の確保や契約取引拡大につながり、東北随一のセルリー産地の復活とブランド化に成功。

代表者名：佐々木 弘一
所在地：山形県山形市
認証：JGAP(H30年)

面積：7ha
構成員：10名
品目：セルリー

取組の紹介

【生産工程管理の改善に向けた取組】

- 毎年、春作と秋作終了後に部全員で研修会を開催し、次作に向けた改善点を協議。
- 毎作の圃場巡回により、GAPによる圃場管理がなされているかを点検。

【生産効率性向上に向けた取組及び効果】

- 作業手順を整理してフローチャート化することで、作業の効率化を実現。
- GAPの取り組みを通じて、施肥設計、防除体系、農場のリスクをマニュアル化、文書化することにより、新規就農者の定着に寄与。

【経営改善に向けた取組及び効果】

- JGAP団体認証取得により新規の取引先を獲得。市場価格より高値安定の契約販売が可能となり、部全体の販売金額が上昇。

【地域内外への波及効果】

- 他産地の生産者や消費者の視察を積極的に受け入れるとともに、地元の子供たちへの収穫体験等を通じ、GAPの取組を広く紹介。



収穫直前のセルリー圃場と
セルリー団地俯瞰(左上)



GAP圃場巡回の様子



地元の子供たちとの収穫体験教室

ホームページ